

府中市の  
**「元気な企業」**  
活用ガイドブック 2017  
Fuchu company utilization guide book

◎ほっとするね 緑の府中  
府中市

府中市生活環境部経済観光課  
工業技術情報センター

# 01 COMPANY

## プラネタリウムをはじめとする ドーム空間を構築する総合メーカー 株式会社 五藤光学研究所



取締役社長 五藤 信隆氏

住 所：〒183-8530 府中市矢崎町4-16  
 T E L：042-362-5311  
 F A X：042-361-9571  
 資本金：5,000万円  
 従業員数：150名  
 U R L：http://www.goto.co.jp/  
 企業窓口 E-Mail：info@goto.co.jp



ホームページは  
こちらからも  
ご覧いただけます

### ●わが社の特徴

常に最先端であり続けるために、技術要素を日々研究し、創意工夫をモットーにドーム空間の可能性を追求しています。また、プラネタリウムの総合プロデュースに取り組み、施設の企画・立案から機器開発・製造・納入、維持管理、運営サポート、番組制作までの一連業務をすべて自社で行っています。

### ●主要製品又は技術

プラネタリウム（大型・中型・小型・学校用）、全天周デジタル映像システム、大型望遠鏡、ドームスクリーン、プラネタリウム番組、デジタル映像コンテンツ 他

### ●わが社の得意とする製品・技術

#### [ ハイブリッド・プラネタリウム ]

美しい星空を投射する光学式投射機と、恒星の固有運動や宇宙飛行、迫力ある映像などを表現する全天周デジタル映像システムが渾然一体となって融合し、体系化された、五藤光学研究所の新世代のプラネタリウムシステムです。現在では、世界で初めて肉眼で見ることの出来る約9,500個の恒星すべてに固有の色を付加し、星の明るさだけでなく色彩までも再現した「ケイロンⅢ」や、小規模の傾斜ドームにも対応した「パンドラⅡ」を開発。2017年には、88星座絵をも投射する新型プラネタリウム「オルフェウス / ORPHEUS™」を開発。また、欧州に初めて「クロノスⅡ」をハイブリッド・プラネタリウムとして納入するなど、海外にも数多くの実績を有しています。

#### [ 大型望遠鏡 ]

1923年、天体望遠鏡メーカーとして創業以来、より遙か遠くの宇宙を伝えるため、大型望遠鏡を開発・製造しています。光学設計、レンズ研磨は「ものづくり」で培った長年の技術力で優れた品質を生みだしています。

#### [ ドーム映像（展示・博覧会映像） ]

1970年の大阪万博で世界初の全天周映像を実現以降、ドーム映像にとどまらず、特殊な形状のスクリーンや高解像度が求められる特殊な映像空間を手がけています。ドームスクリーンに映像を継ぎ目なく投射する映像技術と40年以上にわたる展示・博覧会映像のノウハウの蓄積は、様々なプロジェクトに対応が可能です。



国立科学博物館「シアター360」

### (インタビュー-)

こちらは、美しい星空を再現するプラネタリウムです。

この**プラネタリウムの世界的トップメーカー**が、府中市にあることを皆様ご存知ですか？国内で約7割、海外でも約4割の納入実績がある世界屈指のプラネタリウム開発製造会社が、(株)五藤光学研究所です。

五藤さんに、お話をお聞かせします。平成28年に、創業90周年を迎えられたとのことですが、元々はこういったモノを作っていたのですか？

### (五藤社長)

私の曾祖父 五藤齊三が大正15年に、高品質の望遠鏡を作ろうと創業しました。

### (インタビュー-)

プラネタリウムや望遠鏡は、府中市内では、こういった場所に納品されているのですか？

### (五藤社長)

プラネタリウムは、府中市郷土の森博物館に設置されています。望遠鏡も同所で、いろいろな場所に出向いて星を見ていただくというような移動式天文台として活用されています。

### (インタビュー-)

物語も製作していると伺っていますが？

### (五藤社長)

私共は、番組も重要と考え、お子様、一般の方でも興味を持っていただけるよう**宇宙科学の番組を作り続けております**。実は、4月(平成28年)、(公財)府中文化振興財団様と府中市郷土の森博物館の管理運営を一緒にやることになりまして、府中市にいろいろな恩を返せると社員一同頑張っ

やりたいという気持ちでいっぱいです。

### (インタビュー-)

プラネタリウム以外では、こういったお仕事をしているのですか？

### (五藤社長)

**映像という分野では、新しいチャレンジを続けてきております。**

2005年の「愛・地球博」では、世界で初めて360度(天井から床まで)映像に包まれる(360度全球スクリーン)空間を作りました。その後、上野の国立科学博物館に移設し、現在ご覧いただけます。

### (インタビュー-)

五藤さんにとって「ものづくり」で一番大切なものは、こういったところになりますか？

### (五藤社長)

我々のお客様は、使っていただく方々、その向こうに、番組を見に来てくださる方々がいらっしゃいます。「ものづくり」をする上では、**最終エンドユーザーであるお客様方に、いろいろな感動を持ち帰っていただける**、そういうものを作りたいと日々頑張っています。

### (インタビュー-)

これからも、ぜひ、沢山の感動を生み出してください。

### (五藤社長)

頑張ってます。



移動天文車：ベガサスⅡ (府中市郷土の森博物館)



◆ まるごと府中 ものづくりの現場 NOW! 2016年11月1日~10日 Youtube 放映分より



# 02

## COMPANY 株式会社 田原電機製作所



代表取締役社長 田原 一樹 氏

住 所：〒183-0027 府中市本町2-30  
 T E L：042-365-0611  
 F A X：042-360-1149  
 資本金：4,000万円  
 従業員数：103名  
 U R L：http://www.tahara.co.jp/  
 企業窓口 E-Mail：ホームページにお問合せ窓口有り



ホームページは  
こちらからも  
ご覧いただけます

### ●わが社の特徴

当社は、制御システム構築、産業用ソフトウェア開発、電子機器開発製造を主な事業として行っています。それぞれの技術領域を強化するだけでなく、3つの事業がシステムとして統合されることで多様なソリューションを提供することが可能となります。

### ●主要製品又は技術

“太陽電池アレイチェッカー”、水処理監視制御設備、防災監視制御設備、各種制御盤、高低圧受配電盤、PLCソフト構築、電子機器開発、高密度電子基板実装

### ●わが社の得意とする製品・技術

<高密度実装、SMD・DIP 混在基板実装>

1005チップ、0.4mmQFP、BGA、対応可

<マイコン・デジタル・アナログ回路製品の設計・試作・量産>

SH-2、-3 / H8 / H8S シリーズ、NEC V850 / μPD70 シリーズ、他  
 ソフトウェア開発言語：アセンブラ、C、C++、VB 他

<PLC リプレース>

生産中止品 PLC のプログラム解析を初めとした既存システムの調査から、最新システムへの提案、機能アップなど対応します。

最近の事例 1. 三菱電機 A3A→Q06H 2. 三菱電機 A0J2→Q00J 3. 富士電機 FPK205K→FPU150S

<制御システム構築>

ものづくり現場から公共サービス分野でのプロセス監視制御、モーターコントロールセンターなどのパワーユニット群など多様なシステムを構築

<ソフトウェア開発>

PLCソフトウェア、SCADAシステム等のプロセス監視制御ソフト、タッチパネルをはじめとした HMI 構築

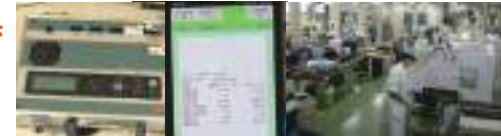
### ●求める製品・技術

電気回路設計技術や構造設計技術

パワーエレクトロニクス関連製品の開発技術



### 配電・制御・情報技術の分野で 総合力を発揮!



(インタビュー-)

環境に優しい太陽光パネル、どの位の電気を作りだしているのか、このスマートフォンと、この装置(太陽電池アレイチェッカー)があればわかるそうです。

それを作ったのが、制御システム構築、産業ソフトウェア開発などを主な事業とする**電気制御のエキスパート集団**、(株)田原電機製作所です。

代表取締役 田原さんに、お話をお聞きます。

今年(平成29年)、創業80周年を迎えられたとのことですが、元々はこういった事業をされていたのですか。

(田原社長)

ブレーカーとかの電気機器の組み立てからスタートして、その後、それら電気機器を大きな箱に格納するようになった配電盤というようなものを作って技術を磨いていったと聞いております。

(インタビュー-)

(太陽電池アレイチェッカー)を開発製造されていますが、こういった方が使っているのですか?

(田原社長)

太陽光パネルの施工業者さ

んが、設置後確認や、定期的メンテナンス時に使用されています。

(インタビュー-)

そうなんです。小型で持ち運びやすく、スマートフォンでも使えるので便利です。

(田原社長)

通常ですと発熱で大きな熱が出てしまい冷却のため大型化しますが、ポータブルにすることを目的に小型化しました。(小型化できる特許も取得し開発しております)

(インタビュー-)

より便利で使いやすくなったということなのですね。他には、こういった製品を作られているのですか?

(田原社長)

当社は、社会インフラとして「浄水場」や発電所や工場、施設などの電気制御システムを製造しており、府中市内では、多摩川沿いの下水処理場やご存知のビール工場、駅前商業施設などに納入しております。

(インタビュー-)

私達の生活に、密着されているのです。

(田原社長)

影ながらというところで、やらせていただいております。

(インタビュー-)

これからは、どんなモノを造られる予定ですか?

(田原社長)

我々は、「**技術の力で暮らしを支える**」を、経営理念としております。

その技術というものは多方面に渡っています。「**技術を持って、お客様に新ビジネスを創出してもらうための一役を担う**」そういったプロフェッショナル集団というかたちで、面白いビジネスができないか、「ものづくり」から「モノゴトづくり」と我々は延びて行きたいと思っております。

(インタビュー-)

これから、どんな技術、どんな製品が出てくるかとても楽しみです。

ありがとうございました。



◆ まるごと府中 ものづくりの現場 NOW! 2016年7月11日~20日 Youtube 放映分より



# 03

## COMPANY 株式会社 府中技研

創造力とチャレンジ精神で道を切り開く、計測と通信の府中技研



代表取締役 波多野 和明 氏

住 所：〒183-0026 府中市南町5-38-33  
 T E L：042-366-3544  
 F A X：042-334-4944  
 資本金：3,000万円  
 従業員数：20名  
 U R L：http://www.fg-go.co.jp/  
 企業窓口 E-Mail：hatano@fg-go.co.jp



ホームページは  
こちらからも  
ご覧いただけます



### ●わが社の特徴

1973年（昭和48年）創業以来、計測と通信分野で多くの特注製品を手掛けて参りました。主に、放送局向けFM放送機、監視装置等を中心に開発、製造販売を行っております。高品質でお客様の仕様に合わせたご要望にお応えいたします。

### ●主要製品又は技術

放送局向FM送信機および周辺装置、遠隔制御・監視装置、ビリルビン分析器（黄疸計）

### ●わが社の得意とする製品・技術

- ①高周波機器（放送局向FM送信機器）  
主としてFM放送用送信機、中継用送受信機を製造。特注として応用製品を開発。
- ②遠隔制御・監視装置（基幹局用リモコン装置）  
放送局（親局）と送信所（子局）の各機器の制御や監視カメラ等による運転状態の監視装置です。
- ③分光分析（黄疸計）  
新生児の血清総ビリルビン値を測定する黄疸計。可視光線の中から必要なスペクトラムを干渉フィルターで選び、その強度を測定する。

### ●求める製品・技術

- ① 板金加工および表面処理
- ② ソフトウェア開発
- ③ 組立配線



### （インタビュー）

昭和48年に創業した（株）府中技研を紹介します。

自社ブランド製品や医療製品まで手掛ける「計測と通信のスペシャリスト集団」です。

波多野社長にお話を伺います。どんな会社にしようと思って起業されたのですか？

### （波多野社長）

当時、大手企業さんでも測定器がなく苦勞の連続。そこに高品質の測定器を納入することで、お取引先製品の品質向上を図り、自社の業績も伸ばそうと思っておりました。

### （インタビュー）

先程、FM送信機（中継装置）を拝見しました。あれを作るって凄いですね。

### （波多野社長）

（笑）…放送は、ラジオならAM、FMがあり、それとテレビ等があります。それらのFM送信機の設計製造に自分が社会に出た時、携わったことがあるんです。いつか、電波を出す機械を作るんだと思っておりました。

会社を創業して35年経った頃、会社に力がついてきて手掛けました。

FM送信機、中継装置を開発するのは難



しいと思いますが、今後、自社の柱にしようと思ったわけです。

### （インタビュー）

波多野さんが作ったことで、大勢の方々に電波が届くようになったと思いますが、「ものづくり」をするうえで一番大切にしていることは何ですか。

### （波多野社長）

チョット大げさですが、「使命感」でしょう。「自分たちが作っているモノが、これだけ世の中の役に立っているんだ」と思って作ると、単に言われて作るよりも、良いものができると思っておりました。

### （インタビュー）

これから、使命感を持って、府中市のため、全国のため、世界のために頑張ってください。

### （波多野社長）

ありがとうございます。

### （インタビュー）

こちらには、世界に向けて高い志を持って働いている皆さんがいらっしゃいました。

また、「電動アシスト人力車」の開発も行っており近日発表とのことです。

◆ まるごと府中ものづくりの現場 NOW! 2017年1月11日~20日 Youtube 放映分より



# 04

## COMPANY 株式会社 アーバンリサーチ

顧客満足度の高い  
システムをご提供します



代表取締役 木野 貴夫 氏

住 所：〒183-0027 府中市本町 1-12-2 大国ビル  
T E L：042-364-7770  
F A X：042-364-7973  
資本金：2,400 万円  
従業員数：40 名  
U R L：http://www.urbanresearch.co.jp  
企業窓口 E-Mail：info@urbanresearch.co.jp



ホームページは  
こちらからも  
ご覧いただけます

### ●わが社の特徴

当社は、コンピュータメーカーでシステム開発を行ってきたエンジニアが母体となって 1982 年に設立されたシステム開発会社です。設立以来「業種・業務に特化したシステム開発」をキーワードに、当社の得意とするネットワーク要素技術をベースに半導体システムや中古車オートオークションなどのシステム開発やサービス提供を主としたビジネス展開を進めています。

### ●主要製品又は技術

- 半導体製造装置グループコントローラ
- オートオークションシステム
- 斎場管理システム (Funeral Ceremony System) 「白木蓮」
- 光センシング歪み計測システム

### ●わが社の得意とする製品・技術

#### 【通信技術】

コンピュータメーカーでの長い開発経験から、各種の通信プロトコルの開発、アプリケーション、装置コントローラへのプロトコル実装などでの経験が豊富にあります。

- SECS/HSMS/GEM(半導体手順)
- LAPB/LAPD(ISDN 手順)
- TCP/IP

#### 【WEB2.0】

クラウド技術、個別 WEB アプリ、フレームワークなど積極的に情報収集を行い、顧客ニーズに合った実装提供を行っています。

- WEB サービス
- ASP.NET/AJAX
- Google App Engine(クラウド)

#### 【制御系システム】

組込み型端末の開発経験から Windows システムのカーネル周辺ドライバー、ライブラリの開発から実装までを行っています。

- 各種 Windows ドライバー
- Windows Mobile ドライバー・ライブラリ
- 半導体材料搬送用ドライバー

### 本日の催物

施設名	利用時間	催物名
リハーサル室	13:00 ~ 15:00	やまびこ軽音楽倶楽部例会
	16:00 ~ 18:00	和太鼓倶楽部
	19:00 ~ 21:00	オクラホマ フォークダンスの会例会
実習室1	10:00 ~ 12:00	絵画グループ ダビンチ例会
	13:00 ~ 16:00	いけ花同好会例会
	18:00 ~ 20:00	編物・手芸教室例会
実習室2	13:00 ~ 16:00	陶芸サークル 登り窯陶芸倶楽部例会
	19:00 ~ 21:00	木工サークル KAMINAZUKI 例会



※1



※2



※3

#### (インタビュー)

こちらの画像をご覧ください。…※1  
こちらは、中古車業者の方が「せり」をおこなっているオークション会場です。

車の写真や情報を(画面で)見ながら、業者の方が車を「せり」落としています。

このシステムを作ったのが、平成29年9月で創業35年となる府中市本町の(株)アーバンリサーチです。「中古車オークション」・「案内表示シ

ステム」など、そのサービスに特化したシステムを開発するスペシャルエンジニア集団です。

代表取締役 木野貴夫さんにお話を伺います。

中古車の「せり」をおこなうシステムは、具体的にどのようなシステムなのですか？

#### (木野社長)

当社の中古車「せり」システムは、中古車の業者さんがせり会場に持ち込む車の状態ランク付のための静止画像、パノラマ等のデータを入札条件としてサーバに送信します。入札業者さんは、そのデータから落札します。その落札したデータの金額、帳票など自動作成する仕組みです。

#### (インタビュー)

業者の方が、スムーズに「せり」がおこなえるシステムなのですね。

#### (木野社長)

はい、そのとおりです。

◆ まるごと府中 ものづくりの現場 NOW! 2017年3月11日~20日 Youtube 放映分より 14

#### (インタビュー)

こちらのカメラ(※2)、変わった形をしていますがこういったカメラを使って車内撮影しているのですね。このカメラで会議室の中を撮影してみると、タブレットを使って360度見ることができますし、明るさ調整も可能なシステムになっていますね。…※3

#### (木野社長)

ありがとうございます。

#### (インタビュー)

他には、どのようなシステムを作られていますか？

#### (木野社長)

はい、当社では、最近、斎場管理システム「白木蓮」を作りました。

斎場のトータル支援パッケージシステムです。

今後の展望としては、今までやってきた「オークション」・「半導体システム」と合わせ、特化した分野の中で、新しい展開を目指します。また、スマートデバイスやクラウドなどの技術も、積極的に取り入れていきたいと思っています。

#### (インタビュー)

これからも、私達の生活がより便利になるように、ぜひ、頑張ってください。

#### (木野社長)

ありがとうございます。

# 05

## COMPANY オメガウェーブ 株式会社

### レーザー等による 医療計測機器の製造販売

住 所：〒183-0021 府中市片町2-20-3  
 T E L：042-352-1171  
 F A X：042-352-1173  
 資本金：1,000万円  
 従業員数：7名  
 U R L：http://www.omegawave.co.jp  
 企業窓口 E-Mail：sales@omegawave.co.jp

ホームページは  
こちらからも  
ご覧いただけます



代表取締役 鹿嶋 進 氏

#### ●わが社の特徴

レーザーを用いた医療計測機器、主に血液動態（血流、酸素飽和度）、測定機器を開発し、製造販売しています。医療機器の製販業の認可を取得しています。

#### ●主要製品又は技術

2次元レーザー血流画像装置、光ファイバー式レーザー血流計、レーザー血液酸素飽和度計

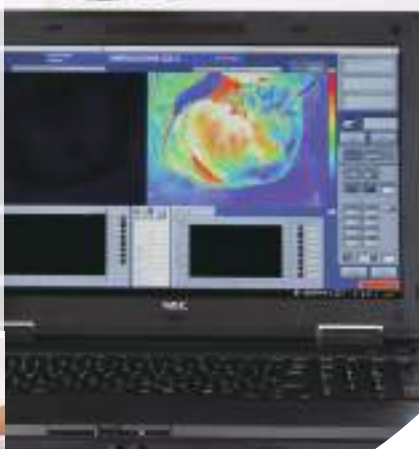
#### ●わが社の得意とする製品・技術

当社はレーザーで血流、血液酸素飽和度測定の機器の開発、製造、販売を行っており、同様の製品を製造している会社は世界に数社しかありません。

血流測定にはレーザー光出力と発振波長の安定化が必要です。当社では独自のシステムを用いて、レーザー光の出力を安定化させています。また、光ファイバーを用いたプローブも自社で製造しており、光ファイバー加工技術を有しています。

#### ●求める製品・技術

光ファイバーをコネクタに取り付ける技術をお持ちの会社



(インタビュー)

血流を測定する医療機器などの開発・製造・販売を行うオメガウェーブ㈱を訪問しています。代表取締役 鹿嶋 進さんにお話を伺います。鹿嶋さん、こちらの装置は、こういった目的で使われているのですか？

(鹿嶋社長)

すべての**生体組織の血流情報を得る**ために使われています。

例えば、人間ですと**血行が悪くなった人に、血行を良くする薬を投与して実際に血行が良くなったかをこれで判断できます**。または、動物実験において血流が良くなったかの判定などに使います。

(インタビュー)

病院で使われるんですか。

(鹿嶋社長)

そうです。その他、大学医学部や製薬会社さんで使われています。

(インタビュー)

この製品以外では、どんな製品を開発されているのですか？

(鹿嶋社長)

この血流測定装置(画像確認)の開発前には、光ファイバー式のプローブで1点(1箇所)の血流を測る装置を開発、製造販売をしてい

ました。

(インタビュー)

1点のみの計測から、画像確認ができる現在の装置が生まれ、**時代(技術の進歩)に応じて、どんどん進化しているのですね**。

光ファイバー式のプローブでも特許を取得されたとのことですが特許製品などを考える時、こういったことを心がけておられますか？

(鹿嶋社長)

やはり、**現場で実際に測定している人を見て、何に困っているのだろう、次に何をやりたいのだろう、あるいは、学会に参加して報告を聞いて、何をしたいのか、何を考えているか**等、常に見て聞いて、次の製品を考えます。

(インタビュー)

今後の展望を聞かせて貰えますか

(鹿嶋社長)

医療用の計測器は、価格が1台100万円以上と高いです。そうではなくて、**個人が簡単に使える、あるいは、働きながら測定できる「ウェアラブル」なものを目指します**。

(インタビュー)

ありがとうございました。

今回の取材を通じて、特許が取れるすばらしい製品は、研究機関や学会、現場を実際に見て聞くことで生まれてくるのだなと感じました。



◆まると府中 ものづくりの現場 NOW! 2016年9月11日~20日 Youtube 放映分より



# 06

## COMPANY マイクロメーション株式会社 F A 関連のシステムハウス ツマミ付テープ作成ツールの製造販売



ミミタブテープ  
ツマミ付テープ作成ツール



代表取締役 小宮山 誠司 氏

住 所：〒183-0025 府中市矢崎町 4-14-1-614  
T E L：042-360-4161  
F A X：042-360-4193  
資本金：1,000 万円  
従業員数：3 名  
U R L：http://www.micromation.co.jp/  
企業窓口 E-Mail：admin1@micromation.co.jp

ホームページは  
こちらからも  
ご覧になれます



(インタビュー)

数々のアイデア製品を開発した  
マイクロメーション様を紹介します。

小宮山社長、よろしく、お願い  
致します。

普段は、コンピュータを使った  
生産管理システムを作っていると  
伺いましたが、いろんな便利な製  
品も作ってらっしゃるんですね。

(小宮山社長)

はい、そうなんです。

(インタビュー)

その中で、いくつかご用意いた  
だきましたが、ご紹介してもらえ  
ますか。

(小宮山社長)

ミミタブテープを紹介します。  
普通のセロハンテープを使用し  
て貼ると剥がしづらいですが、こ

のミミタブテープを使うと（ミ  
ミタブを作り、好みの長さで切り）  
とても剥がしやすくなります。

(インタビュー)

とても便利です。どうやって、  
この製品は生まれたのですか？

(小宮山社長)

実はですね、これは、本業で電  
子部品を購入すると、お取引先が  
丁寧に包装をセロハンテープで貼  
るので、とても剥がしやすく、イ  
ライラが溜まりました。

そんなイライラ解消に「つまみ」  
が付けられたらいいなと思ってい  
るうち、自分で開発してしまいま  
した。

(インタビュー)

実際に製品にまでするというの  
は、素晴らしいエネルギーですね。

アイデア製品を生み出す秘訣は何  
でしょう？

(小宮山社長)

単に自分中心なんですけど、「ほ  
しい」「あったらいいな」と思った  
「モノ」を形にすることなんです。  
「やる」となったら、四六時中考え  
ています。

(インタビュー)

これから、どんな製品が出てく  
るか楽しみにしています。ぜひ、  
頑張ってください。

(小宮山社長)

ありがとうございます。

(インタビュー)

私も、素晴らしいアイデア製品  
を開発できるように、日々アンテ  
ナを張って頑張ります。

◆まるごと府中 ものづくりの現場 NOW! 2016年5月11日~20日 Youtube 放映分より



### ●わが社の特徴

F A 周辺の生産管理や自動化に関連する分野で、P C や M P U、P L C などをベースに、シ  
ステム作りを行なって来ました。ニーズに即した、ソフト・ファーム・ハードの最適組  
合せを探求しています。

U S B コネクタ固定ツールやミミタブテープ作成ツールの新製品を開発販売しています。

### ●主要製品又は技術

システムエンジニアリング、ソフト設計・製作、ハード設計・製作・ツマミ付テープ作成  
ツール（ミミタブテープカッター）

### ●わが社の得意とする製品・技術

- T C P / I P、U D P / I P による P C 間、P C ・ 機器間通信処理
- O r a c l e、J e t 等の D B 処理
- バーコード端末処理、バーコードエフ処理
- P L C 計算機リンク処理、P L C 処理
- 自動帳票集計・出力処理（E x c e l 等）
- 自動電話通報処理
- M P U ( d s P I C ) による専用装置・I / F の開発
- 既存システムの更新
- 既存装置の更新（プラグコンパチブル）
- システムエンジニアリング
  - ◇ U S B ( A ) コネクタ固定ツール
  - ◇ ツマミ付テープ作成ツールが大評判です。



タイミング発生 I/F 基板 同期タイミング処理基板



U S B コネクタ固定ツール  
(製品名：U S B - T - F I X)